

研究に関するご協力のお願い

福島県立医科大学整形外科科学講座では、本学倫理審査委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。本学における診療情報の利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2026 年 8 月

福島県立医科大学医学部整形外科科学講座 金内洋一

■ 研究課題名

骨粗鬆症診療における骨密度変化と骨折・インプラント関連転帰の関連因子解析：単施設後ろ向きコホート研究

■ 研究期間

2026 年 9 月 ～ 2031 年 9 月

■ 研究の目的・意義

本研究は、実臨床における骨粗鬆症患者を対象に、BMD 変化、新規骨折およびインプラント関連合併症を同一コホートで長期的に評価し、それらに関連する患者背景や治療因子を明らかにする点に意義がある。得られた知見は、個々の骨折リスクに応じた治療選択、治療効果判定、二次骨折予防、周術期管理および術後フォローアップの最適化に寄与し、骨粗鬆症診療の質向上につながることを期待される。

■ 研究対象となる方

- ・ 2000 年 1 月から 2026 年 6 月までに福島県立医科大学附属病院を受診し、診療録上、原発性または続発性骨粗鬆症と診断された方
- ・ 骨粗鬆症治療薬の投与を受けた方
- ・ 少なくとも 1 回の骨密度（BMD）測定記録がある方
- ・ 骨粗鬆症治療薬の投与歴があり、診療録から研究に必要な情報を取得できる方が対象です。

■ 研究の方法

この研究では、通常の診療で記録されたカルテ、検査結果、画像などの情報を使用します。年齢や性別、骨粗鬆症の治療内容、骨密度、血液検査の結果、骨折の有無などを調べます。

主に、治療開始前または最初に測定した骨密度と、その後の骨密度を比較し、どの程度変化したかを評価します。また、新たな骨折の発生、手術で使用した金属や人工関節の周囲の骨折、ゆるみや破損、再手術の有無についても調べます。これらの結果と、患者さんの状態や治療内容との関係を検討します。

■ 試料・情報の利用を開始する予定日

2026 年 9 月 1 日

■ 研究組織

この研究の研究事務局は福島県立医科大学整形外科学講座であり、研究責任者は整形外科学講座 金内洋一です。集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長 鈴木弘行であり、それらの情報は福島県立医科大学整形外科学講座で利用し解析を行います。

■ 他の機関などへの試料・情報の提供について

他の機関への提供はありません。

■ この研究に関する問い合わせ

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、試料・情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに試料・情報の利用や提供はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取消すことは困難な場合もあります。

問い合わせ先

〒960-1295 福島県福島市光が丘 1 番地

公立大学法人福島県立医科大学医学部整形外科学講座 担当：金内 洋一

電話：024-547-1276 FAX：024-548-5505

e-mail：fortho@fmu.ac.jp